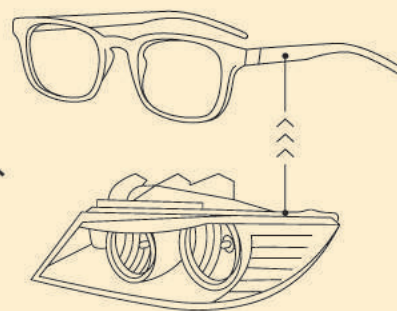


少し前まで、
クルマの目だった
サングラス。



トヨタから
生まれました。

ヘッドランプの廃棄材から生まれた、
ここでしか買えないサングラス。
強度があるポリカーボネートを再利用し、
デザイン性の高さとかげ心地に
こだわりました。



UP CYCLE PRODUCT

アップサイクル
プロダクト



トヨタ販売店 × アップサイクル

アップサイクルとは？

アップサイクルとは、本来であれば捨てられるはずの廃棄物に、デザインやアイデアといった新たな付加価値をプラスし、別の新しい製品にアップグレードして生まれ変わらせること。トヨタ販売店から出た廃棄材をを魅力的な製品にアップサイクルし、お客さまのもとへお届けしていきます。



アップサイクルの流れ

廃棄材が生じる

クルマのメンテナンスや修理等において使わなくなった部品等が発生します。

分解

廃棄材を捨てず、まだ使えるものやアップサイクルできる素材に分解・分別します。

洗浄

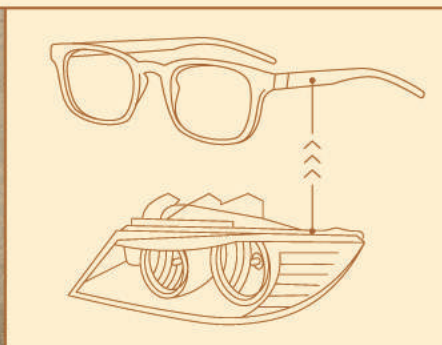
アップサイクルに使う素材を丁寧に綺麗に、洗浄・クリーニングします。

製造

新たな付加価値をプラスし、別の新たな製品に生まれ変わります。

PRODUCT

01/ ヘッドランプの廃棄材から生まれたサングラス



SPEC

商品名：アップサイクルサングラス
価格：10,000円(税込)

MATERIAL

ヘッドランプの廃棄材（プラスチック）から、ポリカーボネートだけを手間暇かけて選り分け再利用。サングラスのフレーム部分の素材として使用しています。

アップサイクルだからこそ、 デザイン性の高さや使い心地にこだわりました。

当社は福井県鯖江市で長くプラスチック製品製造業を営んできた会社で、私が2代目として社長を継いではからはSDGsを意識した「めがね事業」に力を入れてきました。これまでに廃ペットボトルや農業廃棄材をリサイクルしたサングラスの製作実績があるということで、本プロジェクトに参画しています。

今回、眼鏡フレームに使用したのは、自動車販売店業務から出る「ヘッドランプの廃棄材」です。廃棄材はそのままでリサイクルできず、精度の高いものづくりを行うには、廃棄材の中の不純物を手間暇かけて取り除く必要があります。プロジェクトでは、ここをトヨタ販売店さんに担っていただいたおかげで、当社は

ものづくりに集中することができました。普段から廃棄材の管理を厳密に行っているトヨタ販売店さんだからこそ実現したコラボレーションになったのではないのでしょうか。

アップサイクル製品は、デザイン、価格、品質（耐久性）に加え、その裏にあるストーリーを伝えることで初めてお客様にご購入いただけると考えています。本製品はトレンドを意識した妥協のないデザインはもちろんのこと、レンズはドライブやアウトドアスポーツ、釣りなどにも最適な偏光調光レンズを採用しました。いつかアップサイクルの輪が広がり、全国のお客様にも手に取っていただけるようになれば嬉しいです。



内田プラスチック
代表取締役社長
内田 栄時さん

Development
Interview